



# 一小学校だより

令和7年10月31日号  
日野市立日野第一小学校  
校長 小川 真由美  
TEL 042-581-0061



学校ホームページ



「心のバトン」を受け継ぐ

副校長 萩原 聖

11月を迎えた朝夕は肌寒ささえ感じるようになりました。秋もいよいよ深まってきた感があります。秋は、「実りの秋」「スポーツの秋」とも言われるよう、何をするにも最適な時期の到来と同時に、これまで取り組んできた成果が発揮できる時期でもあります。

10月18日(土)は、今年も季節外れの暑さでしたが、皆様のおかげで無事に運動会を開催することができました。たくさんの方々に、ご声援や拍手をいただき本当にありがとうございました。子供たちは、短い練習期間ながらも成果を存分に出し切りました。代表委員会で決めたスローガン「ひのうにあつく、のこすなこうかい いっしんだんけつ ちからをあわせてがんばろう」のもと、心を一つに演技し、思い出に残る運動会となりました。



運動会後の児童の作文や振り返りの中で、高学年の競技、演技、係活動に対する下学年からの憧れや期待のコメントが多く見られました。「応援団がかっこよかった。」「組体操、騎馬戦がすごすぎる。」「リレー選手になれるように、これから体育をがんばる。」など、『自分もいつかあんなふうになりたい』という気持ちが溢っていました。運動会は、技だけでなく「心のバトン」も受け継ぐ大切な場になっています。学校は、これからも子供たち一人一人の思いを受け止め、努力の過程を支えながら、その成長を共に喜び合える運動会になるように取り組んでいきます。



保護者の皆様には、毎日の健康観察と子供たちへの励ましの言葉をありがとうございました。また、運動会後に取ったアンケートには、各学年の演技や運営上の事など、たくさんお褒めの言葉を頂戴し大変嬉しく思います。課題となったことに関しては、来年度の運動会や今後の行事に生かしていきたいと思います。最後に、会場内外のパトロール、テントの片付け等、PTA、ダンディーkaiの皆様には大変お世話になりました。安心して運動会を開催することができましたことに心より感謝いたします。